

高齢者保健事業・介護予防一体的実施業務〔予算額 31,957千円〕 介護予防事業対象者把握業務〔予算額 6,352千円〕		福祉部長寿課 予防係(23-6837)
財源内訳	3款2項2目 老人福祉費／◇高齢者保健事業・介護予防一体的実施業務:諸収入 31,957千円 介護保険特別会計 3款2項1目 一般介護予防事業費／◇介護予防事業対象者把握業務:保険料 913千円、国庫支出金 2,006千円、 支払基金交付金 1,715千円、県支出金 794千円、繰入金 924千円	
支出内訳	3款2項2目 老人福祉費／◇高齢者保健事業・介護予防一体的実施業務:会計年度任用職員報酬(ロングパート) 4,363千円、 会計年度任用職員報酬(ショートパート) 2,020千円、会計年度任用職員手当(ロングパート) 711千円、会計年度任用職員手当(ショートパート) 263千円、 会計年度任用職員共済費(ロングパート) 867千円、委員報償金 36千円、事業協力者報償金 582千円、費用弁償 140千円、消耗品費 14千円、 通信運搬費 2,209千円、基本チェックリスト封入封緘委託料 1,777千円、地域の健康づくり推進委託料 18,975千円 介護保険特別会計 3款2項1目 一般介護予防事業費／◇介護予防事業対象者把握業務:通信運搬費 1,886千円、 基本チェックリスト封入封緘委託料 961千円、住民健康管理システム改修委託料 2,579千円、機器保守委託料 90千円、庁用器具購入費 836千円	

新たな取組

愛知県後期高齢者医療広域連合から委託を受けて高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施し高齢者の健康寿命の延伸及び介護予防を図ります。

【取組内容】



企画調整等

- ★関係各課とデータ分析、課題抽出
- ★医師会等外部機関との協議
- ★広域連合との事業調整

ハイリスクアプローチ

- ★「後期高齢者の質問票」を活用した健康状態不明者の実態把握
- ★後期高齢者健診や医療機関の適切な受診・介護予防事業への参加勧奨

ポピュレーションアプローチ

- ★ごまんぞく体操等通いの場での健康教育普及啓発
- ★講演会（薬剤適正化、口腔フレイル等）
- ★健康相談
- ★介護予防教室

地域福祉センター管理運営業務 〔予算額 222,772千円〕 地域福祉センター施設整備業務 〔予算額 11,715千円〕		福祉部長寿課 施策係(23-6149)
財源内訳	使用料及び手数料 2,481千円、繰入金 4,000千円、一般財源 228,006千円	
支出内訳	3款2項3目 老人福祉施設費／◇地域福祉センター管理運営業務:消耗品費 982千円、地域福祉センター管理運営委託料 221,790千円、 ◇地域福祉センター施設整備業務:実施設計委託料 5,610千円、施設整備工事請負費 6,105千円	

拡充

地域福祉センターの利用者を拡大します

まちなふくしサポート室 まちサポ の設置

地域包括支援センターをベースに世代や属性に関わらず包括的な相談を受け止めます。

60歳未満の方も利用可能に

高齢者の生きがいづくり、教養、娯楽等の場である老人福祉センターについて、運営に支障がない範囲で、60歳未満の方も利用できるようになります。



新規

多世代交流スペースの設置

地域福祉センターを多世代の居場所として活用するため、中央地域福祉センターの一部を改修し、多世代交流スペースをつくります。

R5年度 実施設計

R6年度 改修工事



中央地域福祉センター

拡充	重症心身障がい者支援業務 〔予算額 2,307千円〕	福祉部障がい福祉課 施策係(23-6163)
財源内訳	一般財源 2,307千円	
支出内訳	3款1項3目 障がい者福祉費／喀痰吸引等研修事業費補助金 720千円、重症心身障がい者支援助成金 1,587千円	

新規

障がい福祉サービス事業所に対し、^{かくたん}喀痰吸引研修受講の必要経費を一部補助します。

- ・ 医療的ケアが必要な重症心身障がい児・者を障がい福祉サービス事業所が受け入れるためには、^{たん}痰吸引等の医療行為（喀痰吸引）ができる職員が必要。
- ・ 障がい福祉サービス事業所内において喀痰吸引ができる人材を確保するために、研修受講の必要経費を一部補助し、事業所の受入れ体制整備を支援します。

【補助内容】

- 不特定多数に喀痰吸引ができる「1号、2号研修」を受講
補助上限額90千円（受講料180千円×補助率1/2）
- 特定の者に対して喀痰吸引ができる「3号研修」を受講
補助上限額30千円（受講料60千円×補助率1/2）



<p>拡充</p>	<p>障がい者地域生活支援業務〔予算額 451,716千円〕</p>	<p>福祉部障がい福祉課 施策係(23-6163)</p>
<p>財源内訳</p>	<p>国庫支出金 106,469千円、県支出金 53,234千円、諸収入 579千円、一般財源 291,434千円</p>	
<p>支出内訳</p>	<p>3款1項3目 障がい者福祉費／委員報酬 600千円、会計年度任用職員報酬(ロングパート) 4,179千円、会計年度任用職員手当(ロングパート) 830千円、会計年度任用職員共済費(ロングパート) 890千円、講師等報償金 296千円、費用弁償 260千円、特別旅費 3千円、食糧費 21千円、印刷製本費 77千円、通信運搬費 51千円、賠償責任保険料 49千円、相談支援事業委託料 86,009千円、意思疎通支援事業委託料 8,823千円、地域活動支援センター事業委託料 17,283千円、手話通訳者・要約筆記者養成事業委託料 2,536千円、点字・声の広報等発行事業委託料 161千円、スポーツ・レクリエーション教室開催等事業委託料 1,169千円、芸術文化講座開催等事業委託料 490千円、基幹相談支援センター事業委託料 32,052千円、ピアサポート活動委託料 98千円、障がい者自立生活訓練事業委託料 13,880千円、職員研修負担金 6千円、成年後見制度申立負担金 284千円、地域生活支援事業費負担金 3,273千円、全国ろうあ者体育大会派遣事業費補助金 97千円、位置情報検索サービス導入費補助金 300千円、相談支援従事者初任者研修受講料補助金 375千円、全国手話言語市区長会負担金 10千円、成年後見制度利用助成費 3,507千円、日常生活用具給付費 89,250千円、移動支援費 55,585千円、在宅重度障がい者等訪問入浴サービス費 33,946千円、在宅重度障がい者住宅改修費助成費 2,000千円、日中一時支援費 91,818千円、自動車改造費助成費 1,500千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 8千円</p>	

拡充 **障がい児・者の相談支援体制の強化を図ります。**

- 相談支援利用者の増加

H27：1,209人 → R3：3,076人 ⇒ 6年間で2.5倍超 (+1,867人)



早急な相談支援体制の強化が必要

【現状】4事業所へ委託（相談員12人分）

【R5～】6事業所へ委託（相談員14人分）

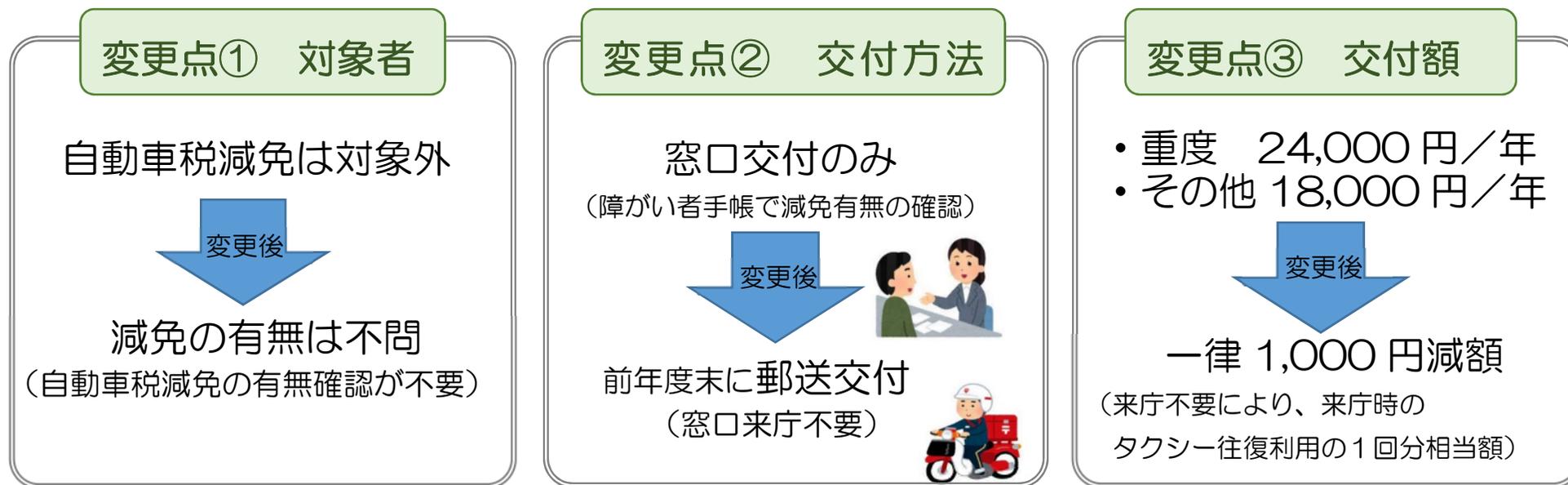
2事業所（相談員2人分）の拡充



障がい者タクシー利用助成業務〔予算額 37,030千円〕		福祉部障がい福祉課 障がい1係(23-6867)
財源内訳	一般財源 37,030千円	
支出内訳	3款1項3目 障がい者福祉費／印字封入封緘委託料 1,750千円、タクシー料金助成費 35,280千円	

拡充

タクシー料金助成利用券の交付方法等を変更し、利便性の向上を図ります。



メリット

- ・ より多くの障がい者に対し、外出機会の確保と社会参加の促進に寄与
(交付者数が約3倍増)
- ・ 郵送交付(来庁不要)の結果、市民の利便性向上と窓口混雑の緩和
- ・ ウイズコロナの時代に即した非接触対応
(基礎疾患を持つ障がい者には感染症予防にもつながる)



新規	飼い主のいない猫避妊・去勢手術事業補助業務 〔予算額 423千円〕	保健部動物総合センター 動物1係(27-0402)
財源内訳	寄附金 423千円	
支出内訳	4款1項10目 動物総合センター費／消耗品費 83千円、飼料費 20千円、飼い主のいない猫避妊・去勢手術事業費補助金 320千円	

令和5年度から、飼い主のいない猫の繁殖を抑制するために避妊・去勢手術した市民に、補助金を交付します。
 捕獲する方には、「飼い主のいない猫捕獲用具」を無償貸与します。また、その財源として、動物愛護寄附金を募ります。
 動物総合センターに引き取りに出される子猫の頭数を減らすことで、殺処分頭数の減少を目指します。

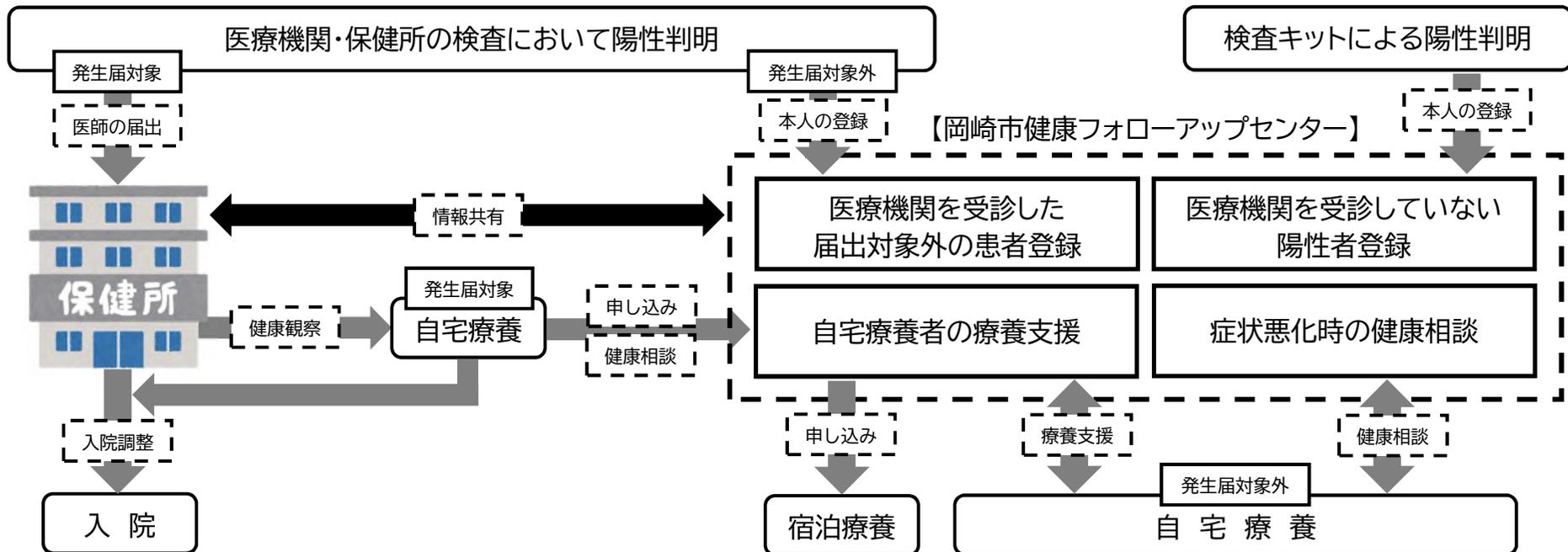


感染症発生防止・医療関連業務〔予算額 2,930,608千円〕

保健部保健予防課
感染症対策1係(64-1585)

財源内訳	国庫支出金 473,507千円、県支出金 2,022,065千円、一般財源 435,036千円
支出内訳	4款1項2目 感染症予防費／委員報酬 38千円、講師等報償金 65千円、委員報償金 180千円、普通旅費 24千円、特別旅費 184千円、消耗品費 10,092千円、燃料費 15千円、食糧費 4千円、医薬材料費 2,321千円、通信運搬費 4,861千円、医療費審査支払手数料 8,280千円、新型コロナウイルス感染症受診相談派遣手数料 29,189千円、新型コロナウイルス感染症健康管理等派遣手数料 288,783千円、害虫駆除委託料 208千円、防疫機器保守点検委託料 33千円、新型コロナウイルス感染症行政検査委託料 603,053千円、健康フォローアップセンター運営委託料 901,118千円、機器賃借料 4,414千円、愛知県医療従事者応援金負担金 6,744千円、新型コロナウイルス感染症自宅療養者等医療提供事業交付金 882,822千円、新型コロナウイルス感染症回復患者転院受入協力金 13,800千円、感染症医療扶助費 172,500千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 1,880千円

新型コロナウイルス感染症対策について、国の「Withコロナの新たな段階への移行」を踏まえ、高齢者等重症化リスクの高い陽性者には、保健所による健康観察など直接的な支援を行います。軽症者も含め、自宅療養者等に対しては、健康フォローアップセンターにおいて配食サービス等、自宅療養支援を総合的に行います。また、医療機関への支援を通じた自宅療養者等への医療機会の提供及びコロナ病床からの転院の促進による新型コロナウイルス感染症患者の入院機会の提供に努めます。



予防接種業務〔予算額 1,679,695千円〕		保健部保健予防課 予防接種係(23-6714)
財源内訳	国庫支出金 15,061千円、県支出金 6,808千円、一般財源 1,657,826千円	
支出内訳	4款1項3目 予防対策費／委員報酬 228千円、特別旅費 26千円、消耗品費 625千円、印刷製本費 1,294千円、通信運搬費 4,411千円、賠償補償保険料 855千円、審査支払手数料 1,547千円、四種混合等予防接種委託料 179,870千円、ポリオ予防接種委託料 233千円、小児用麻疹風しん予防接種委託料 80,013千円、日本脳炎予防接種委託料 134,692千円、BCG予防接種委託料 33,886千円、子宮頸がん予防接種委託料 219,789千円、ヒブ予防接種委託料 125,018千円、小児用肺炎球菌予防接種委託料 166,419千円、インフルエンザ予防接種委託料 253,013千円、高齢者肺炎球菌予防接種委託料 29,599千円、水痘予防接種委託料 67,584千円、ロタ予防接種委託料 97,377千円、B型肝炎予防接種委託料 74,763千円、おたふくかぜ予防接種委託料 7,235千円、成人麻疹予防対策事業委託料 33,603千円、帯状疱疹予防接種委託料 79,969千円、予防接種事務委託料 37,155千円、予防接種予診委託料 55千円、通知書印字封入封緘委託料 8,174千円、住民健康管理システム改修委託料 8,554千円、予防接種研修会開催委託料 463千円、麻疹予防対策事業費補助金 500千円、インフルエンザ予防接種費補助金 10,400千円、子宮頸がん予防接種費補助金 1,927千円、予防接種扶助費 5,776千円、特別の理由による再接種扶助費 670千円、予防接種健康被害者対策費 13,972千円	



新規 帯状疱疹予防接種

80歳までに3人に1人が発症し、強い痛みのほか、神経症状や後遺症などを伴うと言われる帯状疱疹の予防を目的に、帯状疱疹予防接種費用の一部を助成します。

- 対象者：50歳以上
- 助成額：
 - ・水痘生ワクチンは1回分(3,360円/1回)を助成
 - ・不活化ワクチンは2回分(10,060円/1回)を助成
- 助成方法・開始時期：市政だより、市HP等で案内
- 主な予算：帯状疱疹予防接種委託料 79,969千円

拡充 子宮頸がん予防接種

国において、9価HPVワクチンが定期的予防接種として了承されたことを踏まえ、令和5年度から、2価・4価HPVワクチンに加え、9価HPVワクチンの定期予防接種を実施します。

- 対象者：平成9年4月2日から平成23年4月1日生まれの女子でHPVワクチンの3回接種を完了していない方
- 時期：令和5年4月1日から
- 主な予算：子宮頸がん予防接種委託料 219,789千円

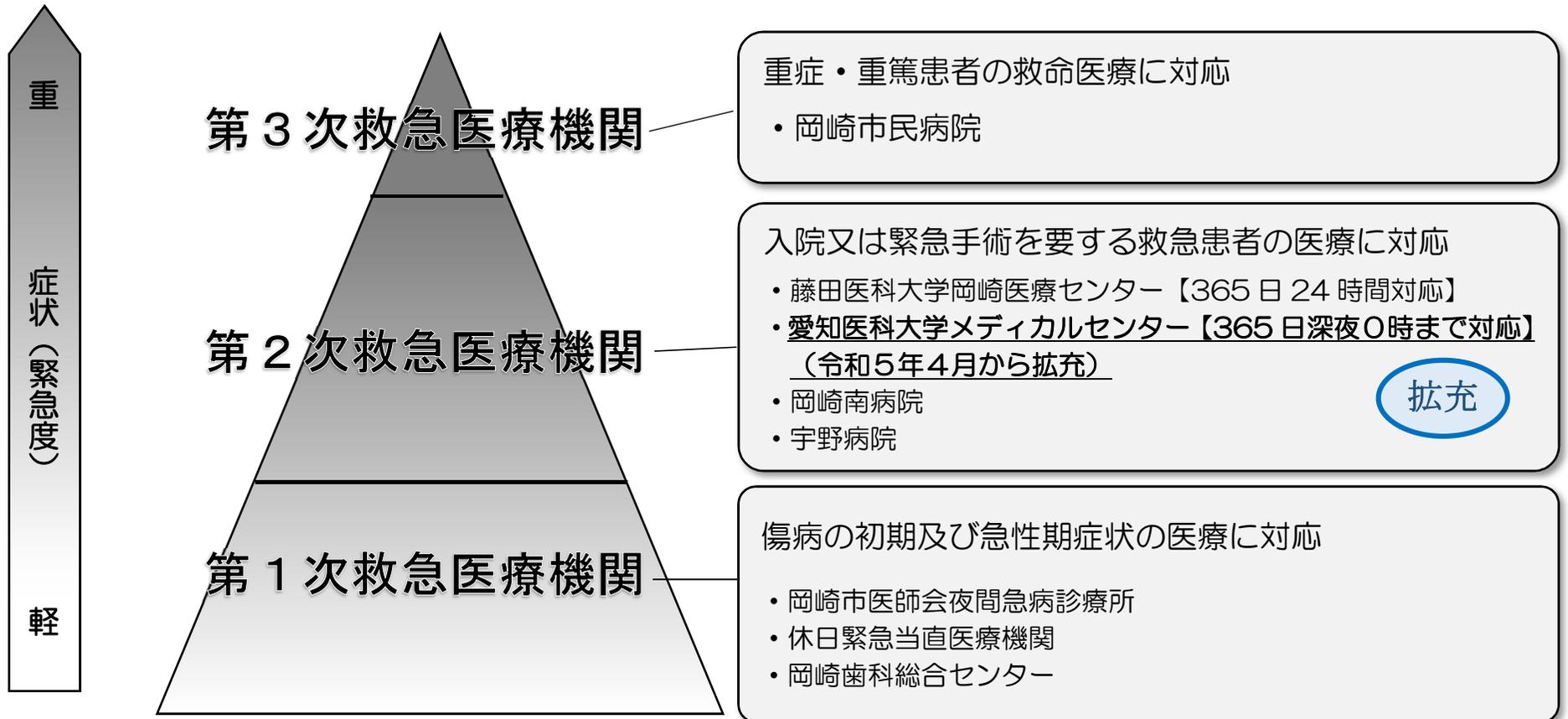
継続 インフルエンザ予防接種

中学3年生、高校3年生に相当する年齢の方は、受験や就職などの大きな節目を迎える時期であることから、この時期の感染への不安を少しでも取り除くことが出来るように、インフルエンザワクチン接種の補助を行います。

- 対象者：中学3年生、高校3年生に相当する年齢の者
- 補助額：2,000円(1人1回まで)
- 方法：償還払い方式
- 時期：令和5年10月頃から開始
- 主な予算：インフルエンザ予防接種費補助金 10,400千円

救急医療体制運営補助業務〔予算額 188,754千円〕		保健部保健企画課 医務指導係(23-6695)
財源内訳	諸収入 23,979千円、一般財源 164,775千円	
支出内訳	4款1項1目 保健衛生総務費／救急医療体制運営費補助金 188,754千円	

夜間・休日における第1次及び第2次救急医療体制を確保するため、岡崎市医師会及び岡崎歯科医師会が行う救急医療事業に対し、運営費の一部を補助します。



出産・子育て応援業務 〔予算額 297,164千円〕		こども部家庭児童課 母子保健係(23-7683)
財源内訳	国庫支出金 197,332千円、県支出金 49,903千円、諸収入 20千円、一般財源 49,909千円	
支出内訳	4款1項4目 母子保健費／会計年度任用職員報酬(ショートパート) 2,822千円、会計年度任用職員手当(ショートパート) 565千円、 会計年度任用職員共済費(ショートパート) 597千円、費用弁償 77千円、消耗品費 11千円、通信運搬費 4,995千円、情報通信使用料 37千円、 機器賃借料 60千円、出産・子育て応援交付金 288,000千円	

国の「出産・子育て応援給付金」を活用して、妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、経済的支援と伴走型相談支援を一体として実施

■ 経済的支援

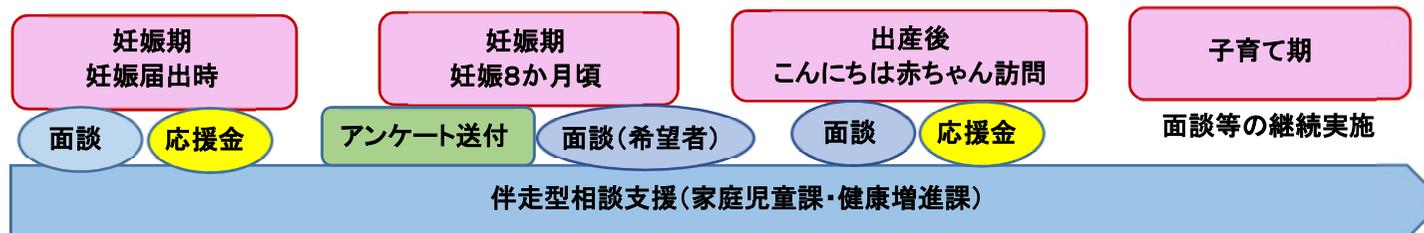
- ① 妊娠届出時に面談し、出産応援金（プレママ応援金）5万円を支給
 - ② こんにちは赤ちゃん訪問（生後2か月頃）で面談し、子育て応援金（ベビーケア応援金）5万円を支給
- 予算 288,000千円【50,000円×5,760人（妊婦2,880人・子2,880人）】



■ 伴走型相談支援

助産師、保健師等の専門職員が妊娠期から子育て期まで一貫して身近な相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ。

- ① 妊娠届出時の面談
 - ② 妊娠8か月頃にアンケートを送付し面談希望者に面談
 - ③ 出産後に、こんにちは赤ちゃん訪問で面談
- ◆専門職員による面談、訪問、電話、オンラインでの相談が可能
- 予算 9,164千円（人件費、事務経費）

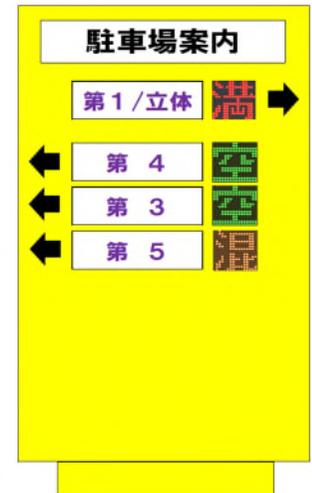


地域医療体制の充実 〔予算額 1,770,991千円〕		岡崎市民病院総務課 経理係(66-7015)
財源内訳	一般会計負担金 166,142千円、企業債 971,000千円、国庫補助金 3,277千円、県補助金 211千円、自己財源 630,361千円	
支出内訳	病院事業会計(資本的支出) 1款1項1目 建設改良費/委託料 70,275千円、工事請負費 1,036,285千円 1款1項2目 資産購入費/器械備品購入費 664,431千円	

救命救急センターを有し、第3次救急医療を担う地域の中核病院として医療水準の確保及び多様化・高度化する医療ニーズに対応する機能の充実を図るほか、施設内の改修工事や高度医療機器の整備を行います。

施設改修や設備の更新〔予算額 1,106,560 千円〕 以下は主な改修工事となります。

- ★来院者の駐車場不足を解消するため、新たな駐車場を整備する工事を行います。
- ★来院者へ駐車場の空車状況を周知するための駐車場満空表示盤を設置する工事を行います。
- ★『患者相談』・『入退院支援』などを集約した患者サポートセンターを新設するための改修工事を行います。



医療機器の整備・充実〔予算額 664,431 千円〕 以下は購入予定の主な機器となります。

最新機器を導入し、市民に高度な医療を提供できる病院として、信頼に応えていきます。

- ☆核医学診断装置
- ☆手術用顕微鏡システム
- ☆体外衝撃波結石破碎装置
- ☆白内障手術機器

